

岐阜県では平成20年4月より、「障害」を「障がい」と表記することとしているが、国や県が定める法令に規定されている用語、名称等や団体、機関等の固有名称は「障害」の表記を用いることとしているため、本試験においては、「障害」の表記で統一して出題している。

令和5年度採用 中学校専門 保健体育

志願種別	
受験番号	

- 【11】 下線部(A)～(E)のうち、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編(平成29年7月 文部科学省) 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕 2 内容 H 体育理論〔第1学年及び第2学年〕」について記載した内容として、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

○ 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方

ア 知識

(2) 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア 運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について理解すること。

- (7) 運動やスポーツは、身体の発達や(A)その機能の維持、体力の向上などの効果や(B)自信の獲得、ストレスの解消などの心理的効果及びルールやマナーについて合意したり、適切な(C)人間関係を築いたりするなどの社会性を高める効果が期待できること。
- (4) 運動やスポーツには、特有の技術があり、その学び方には、運動の課題を合理的に解決するための(D)多様な方法があること。
- (7) 運動やスポーツを行う際は、その特性や目的、発達の段階や体調などを踏まえて運動を選ぶなど、(E)競技力向上を目指す必要があること。

(以下略)

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	○	×	×	×
②	×	×	×	○	○
③	○	○	○	×	×
④	×	×	○	○	○
⑤	×	○	○	×	○

【12】 次の文章は、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） 第3章 指導計画の作成と内容の取扱い 1 指導計画の作成」の一部である。（ア）～（オ）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

（2）授業時数の配当については、次のとおり扱うこと。

- i 保健分野の授業時数は、3学年間で（ア）単位時間程度配当すること。
- ii 保健分野の授業時数は、3年間を通じて適切に配当し、各学年において（イ）が行われるよう考慮して配当すること。
- iii 体育分野の授業時数は、各学年にわたって適切に配当すること。その際、体育分野の内容の「A体づくり運動」については、各学年で（ウ）単位時間以上を、「H体育理論」については、各学年で3単位時間以上を配当すること。
- iv 体育分野の内容の「B器械運動」から「G（エ）」までの領域の授業時数は、それらの内容の習熟を図ることができるよう考慮して配当すること。

これは、指導計画を作成するに当たって配慮すべき事項として、各分野の授業時数及び各領域に配当する授業時数について規定したものである。

<年間標準授業時数>

保健体育の年間標準授業時数は、次のとおりである。

第1学年	105単位時間
第2学年	105単位時間
第3学年	（オ）単位時間
	（以下略）

※上記のi～ivは、原文ではア～エであるが、出題の（ア）～（エ）と区別するためi～ivと表記することとする。

- ① ア 60 イ 効果的な学習 ウ 10 エ 武道 オ 90
- ② ア 48 イ 適切な活動 ウ 10 エ 武道 オ 105
- ③ ア 48 イ 効果的な学習 ウ 7 エ ダンス オ 105
- ④ ア 60 イ 適切な活動 ウ 7 エ ダンス オ 90
- ⑤ ア 48 イ 効果的な学習 ウ 10 エ ダンス オ 90

- 【13】 下線部(A)～(E)のうち、「中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 保健体育編(平成29年7月 文部科学省) 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕 2 内容 G ダンス〔第1学年及び第2学年〕 (1) 知識及び技能」について記載した内容として、正しいものの組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

○技能

ア 創作ダンス

(中略)

(A) 表したいテーマにふさわしいイメージを捉えとは、日常的な動きや心象(意識の中に思い浮かべたもの)などの多様なテーマから、自らが表現したいイメージを捉えることである。そのため、多様なテーマ例から具体的なイメージを示すなどして、自らが表現したいイメージを捉えやすくなるようにすることが大切である。

動きに変化を付けて即興的に表現するとは、動きを(B) 誇張したり、変化を付けたりして、(C) 「ひと流れの動き」(表現したいイメージをひと息で踊れるようなまとまり感のある動き)にして表現することを示している。また、思いつくままに捉えたイメージをすぐに動きにかえて表現することである。

(D) 簡単な作品にまとめて踊るとは、表したいイメージを変化と起伏(盛り上がり)のあるひとまとまりの動き(「はじめ-なか-おわり」の構成を工夫した動き)で表現して踊ることである。

(中略)

(E) グループを固定せず多くの仲間と関わり合うようにして、毎時間異なるテーマを設定し、即興的に表現できるようにする。その際、身近なテーマから連想を広げてイメージを出す、思いついた動きを即興的に踊ってみたり、仲間の動きをまねたりするなどの活動を取り上げる。

(以下略)

- ① (A), (B), (E)
- ② (A), (D), (E)
- ③ (B), (C), (D)
- ④ (B), (C), (E)
- ⑤ (A), (C), (D)

【14】 下線部（A）～（E）のうち、「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 保健体育編（平成29年7月 文部科学省） 第2章 保健体育科の目標及び内容 第2節 各分野の目標及び内容〔体育分野〕 2 内容 E 球技〔第1学年及び第2学年〕（2）思考力、判断力、表現力等」について記載した内容として、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

（2）思考力、判断力、表現力等

球技について、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

（2）攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

（中略）

攻防などの自己の課題を発見しとは、球技の特性を踏まえて、ボール操作や（A）ボールを持たないときの動き及び攻防などの改善についてのポイントを発見したり、仲間との関わり合いや（B）作戦などについての自己の取り組み方の課題を発見したりすることを示している。

合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとは、ボール操作や（A）ボールを持たないときの動き、攻防、仲間との関わり方、（C）健康上の留意点などの発見した課題を、合理的に解決できるよう（D）技能を活用したり、応用したりすることを示している。

自己の考えたことを他者に伝えるとは、自己の課題について、自己や仲間が思考し判断したことを、言葉や文章などで表したり、他者にわかりやすく伝えたりすることを示している。

（中略）

〈例示〉

- ・提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えること。
- ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選ぶこと。
- ・学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えること。
- ・練習やゲームの場面で、最善を尽くす、フェアなプレイなどのよい取組を見付け、（E）理由を添えて他者に伝えること。
- ・仲間と協力する場面で、分担した役割に応じた活動の仕方を見付けること。
- ・仲間と話し合う場面で、提示された参加の仕方に当てはめ、チームへの関わり方を見付けること。
- ・体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習やゲームを行う方法を見付け、仲間に伝えること。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	○	○	×	×
②	×	×	×	○	○
③	○	×	×	×	○
④	○	×	○	○	×
⑤	×	○	○	×	○

- 【15】 下線部 (A) ~ (E) のうち、「学校体育実技指導資料 第10集 『器械運動指導の手引』(平成27年3月 文部科学省) 第3章 技の指導の要点 第4節 跳び箱運動 2. 基本となる動き」について記載した内容として、言葉が正しいものを○, 誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①~⑤の中から一つ選べ。

2. 基本となる動き

ここでは、技の学習のペースとなる能力を身に付ける運動を、跳び箱運動における基本となる動きとして捉えます。跳び箱運動の技は一般に、助走→(A) 踏み込み→踏み切り→第一空中局面→着手→第二空中局面→着地という運動経過をたどります。技の学習のペースとなる能力として、大きく「助走から踏み切り」、「(B) 突き放し」、「着地」の三つの要素を挙げることができます。そしてこれらを、(C) 全体の一連の流れとして行えることが必要になります。

まず「助走から踏み切り」については、助走と両足踏み切りをリズムカルに組み合わせ、両足踏み切りを効果的に行い、踏み切り後には(D) 空中前方に跳び出していけるような能力が必要です。そのための基本となる動きとして、最初は助走距離を長くしないで、(E) 6~7歩踏み出して、踏切板を両足で踏み切り、踏切板の前に置いたマットに着地したり、踏切板を壁の手前において、両足踏み切りから壁に両手を着いてから着地するようにします。

(以下略)

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	×	×	○	×	○
②	×	○	×	○	○
③	○	×	○	○	×
④	○	○	×	×	○
⑤	○	○	×	○	×

【16】 次の文章は、「令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 岐阜県の調査結果について（令和3年12月22日 岐阜県発表資料）」の記載内容をまとめたものである。下線部（A）～（D）のうち、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

1 実技に関する調査の結果について〔※数値や結果は公立学校のみ〕

< 8種目の体力合計点の県平均値と全国順位 >

区分	H27		H28		H29		H30		R1		R3		
	合計点	順位	合計点	順位	合計点	順位	合計点	順位	合計点	順位	合計点	順位	
小 5	男子	53.70	25	53.88	22	54.03	24	54.00	27	53.35	27	51.80	37
	女子	55.20	29	55.64	24	55.85	23	55.98	26	55.40	30	54.30	33
中 2	男子	42.95	13	42.84	16	42.88	15	42.76	24	42.10	20	41.49	28
	女子	49.78	15	50.50	12	51.00	11	51.39	15	51.01	14	48.84	31

*体力合計点の算出…8種目の得点（10点満点）を合計する。

*令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、調査を中止した。

（以下略）

3 今年度の主な特徴（令和元年度との比較）

◆実技

（中略）

- ・体力合計点の低下の主な背景としては、新型コロナウイルス感染症（以下「コロナ」という。）の影響を受けて、「運動時間の減少」や「(A) 学習以外のスクリーンタイム（平日1日当たりのテレビ、スマートフォン、ゲーム機等による映像の視聴時間）の増加」が考えられる。

（以下略）

4 今後の体力向上に向けた取組み

（中略）

(1) 授業における取組み

- ・「授業が楽しい」と回答した児童生徒の体力合計点が高いことから、(B) 積極的に仲間と競い合うことができるアクティブ・チャイルド・プログラム（ACP）等の活動を積極的に導入した授業を実施する。

(2) 授業以外における取組み

- ・チャレンジスポーツ in ぎふに継続的に参加した学校の児童の体力合計点が高いことから、コロナ禍でも安全にできるよう (C) ルール等を工夫して、多くの児童生徒が参加できるようにする。

（中略）

(4) 教職員への周知及び研修

- ・各地区で体育担当教員等を対象に講習会や研修会を実施し、今年度の児童生徒の体力の状況及び分析等を周知するとともに、(D) 自校の実態を改善するための具体的な方策を考える時間を設け、その後各校で実践できるようにする。

（以下略）

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	×	○	×	○
②	○	○	×	○
③	×	×	○	×
④	○	○	×	×
⑤	○	×	○	○

- 【17】 次の文章は、「スポーツ実施率向上のための行動計画～「スポーツ・イン・ライフ」を目指して～（平成30年9月6日 スポーツ庁）3. スポーツ実施率向上のための具体的取組（2） 主な対象ごとの取組 ア. 子供・若者向けの取組」の記載内容の一部である。（A）～（E）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

ア. 子供・若者向けの取組

- －スポーツの実施について（A）が課題となっており、（B）が求められる。
- －幼児期に外遊びをよくしていた児童は日常的に運動し、体力も高い傾向にある。
- －学校段階を通じ、安全・安心な環境の下、学校の内外でスポーツを楽しめるようにすることが求められる。

（中略）

<スポーツをする気にさせる施策>

[運動遊びの普及]

- i 楽しみながら（C）を身に付けることができる運動遊びプログラムの普及を図る

（中略）

[(D)に応じた指導]

- ii 中央競技団体等による（D）に応じた取組の実施を図る

（中略）

<スポーツをするために必要な施策>

[スポーツをする（E）づくり]

- v 地域の実情に応じたスポーツ環境の整備を図る（運動部活動の見直し、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の更なる活性化を図る）

（以下略）

※上記 i, ii, v は、原文では①, ②, ⑤であるが、出題の①, ②, ⑤と区別するため、i, ii, v で表記することとする。また、原文で引かれている下線は削除してある。

- ① A 二極化 B 生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくり
C 多様な動き D 子供の発達段階 E 場所・仲間
- ② A 無関心 B 体力の向上
C 単純な動き D 少子化 E 場所・機会
- ③ A 無関心 B 生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくり
C 多様な動き D 子供の発達段階 E 場所・仲間
- ④ A 二極化 B 生涯にわたる豊かなスポーツライフの基礎づくり
C 多様な動き D 少子化 E 場所・仲間
- ⑤ A 二極化 B 体力の向上
C 単純な動き D 子供の発達段階 E 場所・機会

- 【18】 下線部 (A) ~ (D) のうち、「運動部活動での指導のガイドライン（平成25年5月 文部科学省） 4. 運動部活動での指導の充実のために必要と考えられる7つの事項 ⑤肉体的、精神的な負荷や厳しい指導と体罰等の許されない指導とをしっかりと区別しましょう 体罰等の許されない指導と考えられるものの例」について記載した内容として、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①~⑤の中から一つ選べ。

体罰等の許されない指導と考えられるものの例

運動部活動での指導において、学校教育法、運動部活動を巡る判例、社会通念等から、指導者による下記の (1) から (6) のような発言や行為は体罰等として許されないものと考えられます。

(A) しかし、これらの発言や行為について、指導者と生徒との間での信頼関係があるときのみ許されます。

指導者は、具体的な許されない発言や行為についての共通認識をもつことが必要です。

- (1) 殴る、蹴る等。
- (2) 社会通念、医・科学に基づいた健康管理、安全確保の点から認め難い又は限度を超えたような肉体的、精神的負荷を課す。
- (例)
 - ・長時間にわたっての無意味な正座・直立等特定の姿勢の保持や反復行為をさせる。
 - ・熱中症の発症が予見され得る状況下で水を飲ませずに長時間ランニングをさせる。
 - ・相手の生徒が受け身をできないように投げたり、まいったと意思表示しているにも関わらず攻撃を続ける。
 - ・(B) 防具で守られている身体の特定の部位を打突することを繰り返す。
- (3) パワーハラスメントと判断される言葉や態度による脅し、威圧・威嚇的発言や行為、嫌がらせ等を行う。
- (4) セクシャルハラスメントと判断される発言や行為を行う。
- (5) 身体や容姿に係ること、人格否定的(人格等を侮辱したり否定したりするような)な発言を行う。
- (6) (C) 特定の生徒に対して独善的に執拗かつ過度に肉体的、精神的負荷を与える。

上記には該当しなくとも、社会通念等から、指導に当たって身体接触を行う場合、必要性、適切さに留意することが必要です。

なお、運動部活動内の (D) 先輩、後輩等の生徒間でも同様の行為が行われないように注意を払うことが必要です。

※上記の (1) ~ (6) は、原文では①~⑥であるが、出題の①~⑤と区別するため、(1) ~ (6) で表記することとする。

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	×	○	×	×
②	○	×	○	○
③	○	○	×	×
④	×	×	○	○
⑤	×	○	○	×

- 【19】 次の文章は、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引（三訂版）（平成26年3月 文部科学省） 第4章 水泳指導と安全 第3節 施設・設備の安全管理 3 プールの水温及び水質管理」の記載内容の一部である。（A）～（E）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

(2) 水質の管理

(中略)

ウ 水の消毒

水の消毒には、(A)，次亜塩素酸カルシウム又は塩素化イソシアヌル酸のいずれかが使用されます。これら消毒作用は速効性、持続性に優れています。残留塩素はこれらの効力は、紫外線の強い盛夏や水温の高いとき、また、利用者数が(B)ときには低下しやすく、注入量等を調整し、「学校環境衛生の基準」に示されている遊離残留塩素濃度が保たれるように管理しなければなりません。一方、あまり高濃度であると眼が痛くなるなどの問題が発生します。水中の遊離残留塩素は、残留塩素測定器で容易に測定できるので、使用前には必ず測定し、使用時には(C)以上測定するよう決められています。また、使用日の積算が30日以内ごとに1回行います。文部科学省においては、水質に関する基準を以下のように定めています。

学校環境衛生の基準（文部科学省通知，平成21年3月改訂）

プールの原水	飲料水の基準に適合するものであることが望ましい。
遊離残留塩素	遊離残留塩素濃度は、プールの対角線上におけるほぼ等間隔の位置3か所以上の(D)及び循環ろ過装置の取水口付近の水について測定し、すべての点で0.4mg/l以上であること。また、1.0mg/l以下であることが望ましい。
pH値(水素イオン濃度)	水素イオン濃度は、(E)以上8.6以下であること。

(以下略)

※上記のウは原文では③であるが、出題の③と区別するため、ウで表記することとする。

- ① A 次亜塩素酸水 B 少ない C 半日ごとに1回 D 水面 E 5.8
 ② A 次亜塩素酸水 B 多い C 1時間ごとに1回 D 水面下20cm E 4.0
 ③ A 次亜塩素酸ナトリウム液 B 少ない C 半日ごとに1回 D 水面 E 5.8
 ④ A 次亜塩素酸ナトリウム液 B 多い C 1時間ごとに1回 D 水面下20cm E 5.8
 ⑤ A 次亜塩素酸ナトリウム液 B 多い C 1時間ごとに1回 D 水面下20cm E 4.0

【20】 次の文章は、「学校体育実技指導資料 第4集 水泳指導の手引（三訂版）（平成26年3月 文部科学省） 第3章 技能指導の要点 第3節 泳法指導の要点 1 クロール」の記載内容の一部である。（A）～（E）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

(1) 脚の動作（「キック」という。以下同じ。）

ア 左右の脚の幅は、親指が触れ合う程度にし、踵を10cm程度離す。

イ 上下動の幅は、（A）程度に動かす。

ウ けり下ろし動作は、膝を柔らかくしなやかに伸ばした脚を、太ももから徐々に足先へ力が加わるように力強く打つようにする。

エ けり終わった後、上方に戻す動作は、脚を伸ばして（B）から上げるようにする。

(2) 腕の動作（「プル」という。以下同じ。）

ア 左右の腕は、一方の手先が水中に入る場合、他方の腕は（C）までかき進める。

イ 手先を水中に入れる場合、手のひらを斜め外向き（45°程度）にし、頭の前方、肩の線上に入れる。

ウ 入水後、腕を伸ばし、手のひらを平らにして水を押さえ、水面下（D）程度まで押さえたら腕を曲げ、手のひらを後方に向けかき始める。

エ 手先が太ももに触れる程度まで、手のひらと前腕で体の下をかき進める。

オ 腕は、（E）から水面上に抜き上げて手首の力を抜き、手先は水面上を一直線に前方へ運ぶように戻す。

（以下略）

※上記のア～オは、原文では①～⑤であるが、出題の①～⑤と区別するため、ア～オで表記することとする。また、原文で引かれている下線は削除してある。

① A 10cm～20cm B 踵 C 腰の下 D 50cm E 手のひら

② A 30cm～40cm B 太もも C 肩の下 D 30cm E 肘

③ A 10cm～20cm B 踵 C 腰の下 D 30cm E 手のひら

④ A 30cm～40cm B 踵 C 肩の下 D 30cm E 肘

⑤ A 10cm～20cm B 太もも C 腰の下 D 50cm E 肘

【21】 下線部（A）～（D）のうち、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革（令和2年9月 スポーツ庁） 2. 合理的で効率的な部活動の推進」について記載した内容として、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

2. 合理的で効率的な部活動の推進

（合同部活動の推進）

- ・地域の実情を踏まえ、特に少子化の影響が大きい過疎地域においては、（A）各学校長の判断に基づき、市町村を越えた他校との合同部活動を推進するとともに、都市部においては、市内の近隣校との「拠点校方式」による合同部活動を推進する事業を実施する。その際、地理的な課題が生じるが、（B）ICTを活用することで、生徒が移動することなく指導を受けたり、生徒・指導者間のコミュニケーションが可能となるよう実践研究を推進する。

（大会・コンクールの在り方の整理）

- ・全国大会に参加できるのは、一部の学校であり、大多数の学校が関係するのは地方大会である。このため、学校の働き方改革の観点も踏まえ、（C）主に全国大会の在り方を整理する必要がある。

（中略）

- ・また、大会が生徒の活動の成果発表の場であることを考慮しつつも、生徒の大会参加による負担が過度にならないように、参加する大会を精選する。
- ・併せて、大会の参加資格については、（D）学校以外のチームも参加できるよう弾力的な取扱いの検討を要請する。

※原文に引かれている下線は削除してある。

	(A)	(B)	(C)	(D)
①	○	×	○	×
②	○	○	×	×
③	×	○	×	○
④	×	×	○	○
⑤	×	○	○	×

- 【22】 次の文章は、「かけがえのない自分，かけがえのない健康（（令和2年度版）【中学生用】文部科学省） 第7章 がん がんの経過」の記載内容の一部である。（A）～（E）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

がんの経過

発生した1個のがん細胞は，目立った症状がないまま増え続け，（A）くらいかけて，一般的にがん検診で発見できる（B）程度の大きさの塊（かたまり）になります。しかしその後，（C）程度の大きさになるのはわずか（D）であり，それ以降は進行がんとなり，症状が現れてきます。まれに，より急激に進行する場合があります。がんが進行すると，今までどおりの生活ができなくなったり，命を失ったりすることもあります。がんを治すためにも，症状がある場合は速やかに医療機関を受診するとともに，症状がない場合も国が推奨しているがん検診を積極的に受診し，早い段階で（E）することが重要です。

（以下略）

- ① A 10年から20年 B 1cm C 2cm D 1～2年 E がんを発見
- ② A 5年から8年 B 2cm C 5cm D 半年 E がんを消滅
- ③ A 10年から20年 B 1cm C 2cm D 半年 E がんを発見
- ④ A 10年から20年 B 2cm C 5cm D 半年 E がんを消滅
- ⑤ A 5年から8年 B 1cm C 5cm D 1～2年 E がんを発見

- 【23】 下線部(A)～(E)のうち、「スポーツ事故防止ハンドブック(解説編)(令和2年12月 独立行政法人日本スポーツ振興センター)」について記載した内容として、言葉が正しいものを○、誤っているものを×としたとき、○×の正しい組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

※原文に引かれている下線は削除してある。

	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
①	○	×	○	×	○
②	×	○	×	○	○
③	○	○	×	○	×
④	○	○	○	×	×
⑤	×	×	×	○	○

【24】 次の(A)～(E)の文章は、「日本陸上競技連盟競技規則(2022年4月
修正) 競技規則・第2部トラック競技, 競技規則・第3部 フィールド競
技」について記載内容をまとめたものである。正しいものの組合せを次の①～⑤
の中から一つ選べ。

(A)

(B)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(C)

(D)

(E)

① (A), (C), (D)

② (A), (B), (E)

③ (B), (C), (D)

④ (B), (C), (E)

⑤ (A), (D), (E)

【25】 次の文章は、「スポーツ基本計画（令和4年3月25日 文部科学省） 第1部 我が国における今後のスポーツ施策の方向性 第2章 中長期的なスポーツ政策の基本方針と第3期計画における「新たな視点」の記載内容の一部である。（A）～（D）に当てはまる正しい言葉の組合せを次の①～⑤の中から一つ選べ。

（第3期計画において推進するための新たな3つの視点）

（中略）

以上のように、上記の中長期的な基本方針を踏襲しつつ、第2期計画期間中に生じた社会変化や出来事等を踏まえると、第3期計画において施策を示すに当たっては、国民が（A）ことを真に実現できる社会を目指すため、以下の3つの「新たな視点」が必要になると考えられる。

- （1） 社会の変化や状況に応じて、既存の仕組みにとらわれずに柔軟に対応するというスポーツを「（B）」という視点
- （2） 様々な立場・背景・特性を有した人・組織が「あつまり」、「ともに」活動し、「（C）」を感じながらスポーツに取り組める社会の実現を目指すという視点
- （3） 性別、年齢、障害の有無、経済的事情、地域事情等にかかわらず、全ての人がスポーツに（D）できるような社会の実現・機運の醸成を目指すという視点

なお、これら3つの視点については、それぞれが完全に独立したものとして捉えるのではなく、相互に密接に関係し合う側面があることにも留意する必要がある。

（以下略）

※上記の（1）～（3）は原文では、①～③であるが、出題の①～⑤と区別するため、（1）～（3）で表記することとする。

- ① A 「する」「みる」「ささえる」 B つくる／はぐくむ C つながり D アクセス
- ② A 「する」「みる」「しる」 B つくる／つながる C 成長 D アクセス
- ③ A 「する」「みる」「ささえる」 B つくる／つながる C 成長 D トライ
- ④ A 「する」「みる」「しる」 B つくる／はぐくむ C 成長 D アクセス
- ⑤ A 「する」「みる」「しる」 B つくる／はぐくむ C つながり D トライ

令和5年度採用 解答表（中学校・保健体育）

問題	【11】	【12】	【13】	【14】	【15】	【16】	【17】
正解	③	③	④	③	③	⑤	①

問題	【18】	【19】	【20】	【21】	【22】	【23】	【24】
正解	④	④	②	③	①	④	①

問題	【25】
正解	①

kyosai-guide